桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI達成状況

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標のKPI達成状況

基本目標	基本的方向	KPI(重要業績評価指標)			
		平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値
1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する	安定した「しごと」づくりを行い、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、企業誘致を推進するとともに、新産業の創出や既存企業における業務・業容拡大などにより地域産業の活力を引き出すほか、労働環境の質の向上を図ることによって潜在的な労働供給力を掘り起こすなど、森林資源をはじめとする地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する。	有効求人倍率 0.85 (平成27年3月)	0.94 (平成28年3月)	1.06 (平成29年3月)	(毎年度上昇) —
2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す	恒常的に続く若年層の流出に歯止めをかけるため、歴史、伝統・文化、自然といった本市が有する貴重な資源の付加価値を高めながら有効活用し、様々な分野において人口減少対策を実施することで、移住・定住の促進を図る。また、様々な特色あるイベントの開催や観光振興を推進することで、交流人口の拡大を図るとともに、地域の活性化を目指す。	社会増減数 772人減	588人減	485人減	386人減
3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる	生涯未婚率の上昇や晩婚化・晩産化による少子化の進行を打開するため、結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に応じた切れ目ない支援を行うとともに、若い世代が安心して子育てができる環境を整備するほか、未来を創造する子どもたちを育成するため、本市独自の特色ある教育の充実を図る。	合計特殊出生率 1.33	1.21	—	1.41
4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり	「しごと」と「ひと」の好循環を更に強固なものにするためには、「まち」の活性化が不可欠である。安心して暮らすことのできる社会環境をつくり出すため、本市のみならず、地域の実情を的確に捉え、広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくりを行う。	市民アンケートによる満足度割合 [偶数年度実施] ① 毎日の暮らし(平均値) ② 地区の生活環境(平均値)	—	①47.6% ②52.2%	(上昇) ① — ② —

桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略 各施策・事業のKPI達成状況

■基本目標:1 地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

施策の方向性

【具体的施策:①新たな雇用やしごと形態の創出】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成31年度
				基準値	実績	実績	目標値
1	在宅就労事業	在宅就労を推進するためのサポート体制の整備やスキルアップ講座を開催するなど、クラウドソーシングなどによる在宅就労の効果的な運用を図る。	新規雇用者数	-	31人	117人	300人 (延べ)
2	就労者居住奨励事業	定住を目的として市内へ転入する子育て就労者及び当該就労者を正規従業員として雇用する市内事業所や新規立地企業などに対し奨励金を交付し、子育て世帯を応援するとともに、就業環境の整備や福利厚生の実施による安定的な雇用を支援することで、定住促進による人口増加と地域の活性化を図る。					
3	企業立地促進事業	雇用創出や地域企業への生産誘発効果、立地企業の市外流出の防止、市内経済の活性化などを図るため、首都圏・中京圏などへの企業訪問や一部の団地への企業立地に対する助成金の交付などを通じ、企業誘致を積極的に推進する。					
4	桐生武井西工業団地整備事業	群馬県企業局と共同で「桐生武井西工業団地」を整備するほか、周辺道路の再整備を行い、安全交通や防災面などにおける交通機能の向上を図る。					
加速	IoT技術を有効活用した「新たなしごと、人の流れ」の創生、及び地方創生重点施策を加速化させる環境整備事業	中心市街地に多数のセンサー等を設置し、GPSと連動させながら、桐生の街を舞台としたリアルな現場体験とストーリー性のあるエンターテインメント事業を展開する。また、IoT特化型エンジン「waシステム」の構築を行い、エンターテインメント事業で蓄積する各種データ等を有効活用していきける仕組みづくりを行う。					

【具体的施策:②創業促進・支援】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成31年度
				基準値	実績	実績	目標値
5	【重点】 空き店舗活用型 新店舗開設・創業促進事業	中心市街地の空き店舗対策補助事業を拡充し、補助対象となる地域を拡大することにより、空き店舗を改修し「新店舗」を開設しようとする事業者などに対する支援充実を図る。また、店舗開設のみならず、「事業所」の開設にも補助対象を拡大することにより、桐生市インキュベーションオフィス卒業企業などにインセンティブを与える仕組みづくりを行い、創業支援を受けた事業者などの市内定着を促進する。	新規創業者数	14人	18人	28人	20人 (毎年度)
6	【重点】 創業促進・支援事業	桐生市創業支援事業計画に基づく創業支援を行うほか、東武本町ビル2・3階の桐生市インキュベーションオフィスの運営を通じ、創業間もない経営者などに対して、きめ細かい支援を行うとともに、創業希望者への相談対応や創業促進イベントの開催などにより、創業機運の醸成を図る。さらに、東武本町ビル1階のコワーキングスペースが、創業に関心を持つ人を引き寄せる場となるように充実を図る。また、経営や起業の際の諸課題に対し、各種専門家などによる指導や講習を実施するなど、創業サポート体制の強化を図る。					
推進①	既存ストックの活用による地方暮らしの推進	空き家や空き店舗などの既存ストックを活用し、地方暮らしの移住・定住促進を図る。地方暮らしのPR及び体験、支援を段階的に行うことで、移住者へ切れ目のない支援を行う。あわせて移住・定住促進に不可欠な職・住に対し、雇用の創出や仕事の場づくり、空き家再生への支援を行う。人口減少時代において、持続的な都市を形成するためには、計画的な定住促進を図る必要があるため、空き家などの既存ストックを活用することで拡散を抑えつつ、空き店舗の活用によるまちなかの活性化とコンパクトシティに向けた計画を策定する。					

施策の方向性

(2)地場産業等の活性化

【具体的施策:①地場産業等の活性化】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)			
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値
7	ローカルイノベーションの創出	地域企業の取組を支援する専門人材の育成・活用を図りながら、大学、研究機関、企業などの連携によるイノベーション・エコシステムの形成に努めるほか、市場情報や企業の経営戦略に資する情報提供や分析など、様々な角度から地域中核企業の成長に向けた取組に対する支援体制の整備を図る。	96件	95件	166件	150件 (毎年度1割増)
8	海外販路開拓支援事業	「台北テキスタイルフェア(TITAS)」や「JETROキャラバン事業」などへの参加を通じ、台湾・中国・タイ市場などへの更なる浸透を図るとともに、群馬県などと連携しながら他の国への事業展開を図る。				
9	中小企業新規取引先開拓支援事業	大規模展示会への市内企業との共同出展のほか、各種展示会への企業独自の出展や、国際認証取得に対し補助金を交付する。さらに、市ホームページ内に創設した「製造業ガイド」により、優れた技術を保有する市内企業の情報発信を行うなど、販路開拓を支援する。				
10	桐生の逸品発信事業	「ものづくりのまち桐生」の卓越した技術による製品を、広く全国に発信し、桐生ブランドの定着を図る。				
11	地場産業振興センター事業	地域経済の基盤強化と地域住民の福利の増進に寄与するため、地場産業の健全な育成を図る。				
12	桐生市工房推進協議会補助	市内の家屋や工場などを活用し、工房設置を推進する。				
13	桐生市ぐんま新製品・新技術開発推進事業	産学官連携などを通じて、新製品・新技術の開発により成長を図る市内企業に対して、群馬県と協調して開発費の一部を補助する。				
14	繊維産地インターンシップ事業	市内企業と大学、学生との連携を促進するため、市内繊維関連企業において、日本女子大学被服学科の学生を対象にインターンシップを実施する。				
15	北関東産官学研究会連携支援事業	産学官連携による地域企業の成長を図るため、北関東エリアにおける産学官連携の中核的な機関である北関東産官学研究会の活動を支援し、産学官共同研究を促進する。				
16	人材養成事業	市内の中小企業が、一定の条件の下に行う研修及び通信教育の受講料の一部を助成する。				
17	職業能力開発事業	桐生地域の在職者や求職者に対して、職業に関する研修、講習、講座や施設の提供を行う。(桐生市職業訓練センターの運営)				

施策の方向性

(3)農林業の振興と成長産業化に向けた取組

【具体的施策:①農産物等の有効活用と担い手の確保】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
18	農業後継者育成事業	新たに就農する農業後継者に奨励金を交付することにより、農業経営の安定化に寄与するとともに、農家の担い手となる若者の市内定住を促進し、本市農業の振興を図る。	新規就農者数 (雇用就農含む)	10人	18人	5人	15人 (毎年度1人増)
19	地域特産品等開発販売促進事業	黒保根産の旬の野菜や果物などを広く知ってもらうためのPRを行うとともに、地元産物を使った特産品(加工品など)の開発を行う。					
20	青年就農給付金事業	経営リスクを負っている新規就農者(45歳未満)の経営が軌道に乗るまでの5年間補助を行う。					
21	6次産業化推進事業	農畜産物における6次産業化を推進するため、経営の発展・多角化を図る取組に係る経費を補助する。					

【具体的施策:②森林資源の活用による林業の活性化と水源の活用】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
22	【重点】 森林・林業再生のための基盤整備	桐生の恵まれた森林資源を生かした生産・流通量の拡大や、ローコスト化による収益率の上昇を図るため、市場併設型木材ストックヤードの整備に対する支援や、木材生産及び生産流通用林業機械などの導入に対する支援を行う。また既存林道・作業道の機能維持、拡大による林業の近代化を推進することにより、新規就業環境などの改善にもつなげ、新卒者など林業未経験者の就業を容易にする環境整備を図る。	林業従業者数	16人	17人	20人	22人
23	水源の活用による産業の創出	山紫水明の地と称される本市の水源を活用した新たな産業の創出に向けた研究を行う。					

■基本目標:2 人口の市外流出に歯止めをかけ、移住・定住を促進するとともに、交流人口の拡大による地域の活性化を目指す

施策の方向性

【具体的施策:①移住・定住情報の提供及び空き家等の活用】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
24	「桐生暮らし体験ツアー」	お試し暮らし住宅などを活用しながら、桐生での生活の魅力が体験できるツアーの提供を行う。					
25	【重点】 移住・定住情報のPR戦略事業	桐生の魅力をはじめ、全庁的な移住・定住応援施策をまとめた情報をPRするための冊子などを作成するとともに、メディアなどを通じ、効果的に情報を発信するための手法・体制を整備する。					
26	【重点】 定住促進(空き家対策推進)事業	「空き家・空き地バンク」による住居の相談、「お試し暮らし」や「空き家見学会」などによる桐生体験、並びに「移住相談会」を開催する。	①相談件数 ②空き家・空き地バンク成約件数	①245件 ②19件	①401件 ②18件	①337件 ②37件	①350件 (毎年度) ②20件 (毎年度)
推進① 【再掲】	既存ストックの活用による地方暮らしの推進	空き家や空き店舗などの既存ストックを活用し、地方暮らしの移住・定住促進を図る。地方暮らしのPR及び体験、支援を段階的に行うことで、移住者へ切れ目のない支援を行う。あわせて移住・定住促進に不可欠な職・住に対し、雇用の創出や仕事の場づくり、空き家再生への支援を行う。人口減少時代において、持続的な都市を形成するためには、計画的な定住促進を図る必要があるため、空き家などの既存ストックを活用することで拡散を抑えつつ、空き店舗の活用によるまちなかの活性化とコンパクトシティに向けた計画を策定する。					

【具体的施策:②移住・定住者への支援】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
27	空き家利活用補助	居住などのために空き家をリフォームする場合、または空き家を除却する場合の費用の一部を補助する。					
28	黒保根町定住促進住宅の整備	市外からの転入者などを優遇した賃貸用の定住促進住宅を黒保根町に建設し、英語教育など黒保根町ならではの取組と連携した総合的な定住促進を図る。					
29	住宅取得応援事業	定住を目的として、桐生市内に住宅を建築又は購入する個人に対し、住宅取得費用の一部を補助する。					
30	低廉な住宅用地の供給	子育て世代などに優遇策を付加した「川内町一丁目宅地分譲」や「ひまわり団地分譲」をはじめ、低廉な住宅用地の供給を行う。	転入者数	2,667人	2,897人	2,857人	3,000人
31	黒保根支所定住促進奨励金事業	黒保根町に定住(10年以上)することを宣誓し、結婚・出産・新築・改築を行った場合に奨励金(祝金)を交付する。					
加速 【再掲】	IoT技術を有効活用した「新たなしごと、人の流れ」の創生、及び地方創生重点施策を加速化させる環境整備事業	中心市街地に多数のセンサー等を設置し、GPSと連動させながら、桐生の街を舞台としたリアルな現場体験とストーリー性のあるエンターテインメント事業を展開する。また、IoT特化型エンジン「waシステム」の構築を行い、エンターテインメント事業で蓄積する各種データ等を有効活用していきける仕組みづくりを行う。					

施策の方向性

(2)地域の資源を活用した観光振興

【具体的施策:①地域の資源の有効活用】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)			
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値
32	動物園観光促進ウェルカム事業	特色ある動物展示や体験型のイベントなどを一体となって実施するとともに、低速電動コミュニティバス“MAYU”を重要伝統的建造物群保存地区など中心市街地へ運行する。	①桐生が岡動物園 来園者数 ②桐生が遊園地遊 器具延利用者数 ③MAYU利用者数	①428,539人	①398,340人	①320,000人
33	重要伝統的建造物群保存地区公開施設整備	伝統的建造物を活用し、公開展示する施設を整備する。				
34	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業	経年劣化による老朽化や震災などにより損傷している伝統的建造物(特定物件)の保存修理を継続的に実施し、防災対策として簡易消火栓や火災警報器などを整備する。さらに、自主防災組織と連携し、火災の早期発見や初期消火体制の構築に努める。				
35	歴史まちづくり整備事業	歴史まちづくり法に基づく「歴史的風致維持向上計画」を策定し、本市の歴史的風致の維持・向上を図るための整備事業などを推進する。				
36	郷土資料【桐生織物】展示事業	織物記念館の一部を活用し、織物を中心とした資料展示を行うことにより、織物の歴史、技術、製品などを広く紹介し、繊維産業の振興を図る。				
37	桐生独自のイベントの開催	歴史ある桐生祇園祭と郷土民謡の八木節を中心とした桐生八木節まつりの充実や誘客宣伝を強化し、全国区のイベントへと進化させるとともに、地域の伝統・文化を継承した新里まつりやくろほね夏まつりを開催する。また、グルメ・スポーツのイベントや市内周遊ハイキングを開催し、地域活性化を図る。(北関東三県ウまいもん合戦、四鉄道合同ハイキング、桐生市堀マラソン大会等)	②948,835人	②1,096,359人	②1,057,837人	②950,000人
			③6,104人	③5,189人	③5,188人	③6,300人

【具体的施策:②観光拠点整備と効果的な情報発信】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
38	【重点】 インバウンド対策の強化	日本語版・外国語版(英語、中国語など)の観光PR映像を駅や観光施設で放映するほか、旅行エージェントやマスコミ関係者に配布することにより、誘客及び市内周遊の促進並びに東京オリンピックを見据えたインバウンド対策の強化を図る。	観光入込客数	3,855,000人	4,154,700人	4,297,500人 (見込み)	4,190,000人
39	桐生観光協会の拠点整備(日本版DMO)	観光の拠点となる施設を整備し、日本版DMOの研究を視野に入れながら、民間活力を導入した旅行商品の企画・立案や、誘客宣伝事業に力を傾注することで、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。					
40	観光推進事業	メディアを活用し、市外・海外への誘客宣伝活動を実施するとともに、4つの鉄道の公共交通事業者や旅行エージェントと連携し、モニターツアーを実施する。また、ソウルフードの宝庫とも呼ばれる、本市の豊富な食文化を“食都”と位置付け、地場産業の象徴である“織都”と併せ、インバウンド需要も視野に入れた観光振興を図る。					
41	地域づくりインターン事業	大学生に短期間滞在してもらい、市内の飲食店や観光施設の取材、地域の慣習をはじめとした日常生活の体験を通じ、観光に特化した旅行企画を提案してもらうとともに、その旅行企画書に基づき、旅行エージェントなどを招聘し、モニターツアーを実施する。					
加速 【再掲】	IoT技術を有効活用した「新たなしごと、人の流れ」の創生、及び地方創生重点施策を加速化させる環境整備事業	中心市街地に多数のセンサー等を設置し、GPSと連動させながら、桐生の街を舞台としたリアルな現場体験とストーリー性のあるエンターテインメント事業を展開する。また、IoT特化型エンジン「waシステム」の構築を行い、エンターテインメント事業で蓄積する各種データ等を有効活用していきける仕組みづくりを行う。					
推進 ②	ヘリテージツーリズムによる桐生 & 足利の広域周遊観光促進事業『東武グループ連携～Happy Happy プロジェクト』	日本遺産を核としたヘリテージツーリズムを、桐生市と足利市とが連携し広域周遊観光の促進事業として実施。					

■基本目標:3 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

施策の方向性

(1)結婚・妊娠・出産・子育ての支援

【具体的施策:①結婚・妊娠・出産のための支援】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
42	婚活に対する支援	出会いの場を提供するため、婚活パーティーを開催する団体や世話人同士の情報交換会を通じ、出会いの場を設定する団体への支援を行う。 また、より効果的に推進するため各団体と連携を図り、実施方法や周知方法についての研究を進める。	市が支援する婚活イベントにおけるカップル成立数	20組	17組	18組	20組 (毎年度)
43	不妊治療費助成事業	不妊治療費の一部を助成することにより、不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図る。					

【具体的施策:②子育て世代の負担軽減】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
44	【重点】 新たな奨学金制度の整備	子育て世代の教育費の負担軽減を図るほか、群馬大学理工学部生の本市への定着促進や、大学などの卒業者のUターン・市内居住を目的として、優遇措置を付加した奨学金制度を整備する。	第3子以降の各種無料化事業	-	継続 ※No44は未実施 No45は開始	継続 ※No44は未実施	継続
45	第3子以降給食費無料化事業	扶養第3子以降の小学校1年生から中学校3年生までの児童・生徒の給食費を全額補助する。					
46	第3子以降保育料無料化事業	保育園・幼稚園などに就園する扶養第3子以降の子どもの保育料を無料にする。					
47	黒保根町就学奨励事業	黒保根中学校の生徒が休日に登校するために利用するデマンドタクシーの運賃を補助する。また、黒保根町からわたらせ渓谷鐵道を利用し、高等学校などへ通学する生徒の通学費の一部を補助する。					

施策の方向性

(2)安心して子育てができる環境整備

【具体的施策:①安心して子育てができる環境整備】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
48	【重点】子育て世代包括支援センターの整備	妊娠期から子育て期(18歳まで)の様々なニーズに対して、総合的に相談や支援を提供するワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを整備する。	市民アンケートによる“保育施設整備について”の満足度割合 [偶数年度実施]	37.6%	-	32.9%	39.9%
49	産前産後サポート・産後ケア事業	妊産婦などが抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、助産師などによる相談を行うほか、産後に心身の不調又は育児不安を持つ母親を対象として、医療機関などにおいて、心身のケアや育児のサポートなどを行う。					
50	病児保育事業	病気や病気回復期の乳幼児や児童で、保護者に就労などの理由があり、家庭で保育できない場合に、病院や保育所などに付設された専用スペースなどにおいて、看護師などが一時的に保育する。					
51	放課後児童健全育成事業	仕事のため保護者が昼間家庭にいない児童などに対し、適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成を図る。					
52	いじめ等対策事業	児童・生徒に対する理解を深めるため、日常観察や面接・面談による方法に加えて、小5～中2の全児童・生徒を対象にQ-U検査を実施する。					
53	ネット見守り事業	青少年の健全育成に悪影響のあるサイトや悪質な書き込みなどを見回り、ネットの現状をできる限り把握するとともに、子ども、保護者などを対象とした情報モラル講習会を開催する。					

施策の方向性

(3)特色ある教育の充実

【具体的施策:①特色ある教育の充実】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
54	【重点】 総合教育センター設置・運営事業	幅広い世代の教育・学習・相談の拠点や教員の研修場所としての役割を果たすとともに、教育行政方針で掲げる「桐生を好きな子供を育てる」の一助とするため、子育てと生涯学習の機能を併せ持った総合教育センターを設置する。	市民アンケートによる“子どもの教育の場として”の満足度割合 [偶数年度実施]	41.5%	-	44.6%	43.4%
55	【重点】 未来創生塾	群馬大学理工学部と産業界、行政などが協調して、地域の自然環境や歴史・文化・産業などを題材として子どもたちに体験型学習の場を提供し、将来の夢の発見や夢の実現に向けた行動を起こさせようとする活動を支援する。					
56	【重点】 サイエンスドクター事業	将来の地域産業を支える人材を育成するため、全市立中学校に派遣した群馬大学大学院理工学府の大学院生が、理科の授業における観察・実験方法などについて、企画立案・助言を行う。					
57	織物体験事業	全市立小学校の3年生以上の1学年を対象に、桐生市の伝統産業である織物の講話や織機を使用した手織り製作の体験などを行う。					
58	海外研修事業	キャリア教育を目的として、市立商業高校の生徒を台湾に派遣し、異文化を体験してもらうとともに、企業訪問や現地大学生との交流を行う。					
59	国際理解推進事業	西町インターナショナルスクール交流事業を円滑に実施するため、黒保根小学校において英会話レッスンを実施するほか、レッスンの対象者拡大について検討を行う。					
60	黒保根支所西町インターナショナルスクール交流事業	黒保根小・中学校において、年間を通してホームステイ、田植え、キャンプを行うなど、姉妹校である西町インターナショナルスクールとの相互の交流活動を実施する。					

■基本目標:4 広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

施策の方向性

(1)安全・安心で住みやすい環境づくり

【具体的施策:①地域防災体制の整備】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成31年度
				基準値	実績	実績	目標値
61	自主防災事業	防災アドバイザーに助言を仰ぎながら、自主避難計画の作成や自主避難訓練などの自主防災組織の活動を支援するとともに、土砂災害警戒区域などの対象自治会に対してハザードマップの作成・配布を行うなど、住民自らが地域防災の担い手となる環境を整備する。	自主防災組織の組織率	67.1%	69.5%	70.3%	100%

【具体的施策:②保健・医療・介護体制やサービスの充実】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成31年度
				基準値	実績	実績	目標値
62	在宅医療・介護連携の推進	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に対し、地域における医療・介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護の提供を行う。	市民アンケートによる満足度割合 [偶数年度実施] ①老後の生活の場 ②病院や診療所の 便利さ	①46.3% ②57.9%	-	①45.5% ②52.6%	①49.0% ②59.3%
63	認知症対策の推進	認知症患者自身の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる、良好な地域環境を構築する。					
64	「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)の研究	アクティブ・シニアが健康時から終末期まで継続ケアを受けながら安心して老後を過ごせる仕組みとして、モデル事業の実施状況を検証しながら、「生涯活躍のまち」(日本版CCRC)の研究を行う。					
65	健康寿命の延伸	健康増進法健康診査、国保特定健康診査、後期高齢者健康診査や歯周疾患検診の充実により、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療などにつなげ、市民の健康増進を図る。また、がんの早期発見・早期治療を行うための検診体制の充実を図る。					
66	高度医療の確保	地域の中核病院である桐生厚生総合病院において、市民などに対して充実した医療を提供するため、医師の確保及び高度医療を確保していくための各種機器の導入をはじめとした医療機器整備や建設改良工事により、病院機能の維持や拡充、経営の安定化を図る。					
67	高齢者支援家庭ごみ戸別収集事業	ごみステーションにごみを排出することが困難な高齢者などに代わって、職員が自宅に出向き、ごみの収集を行うことにより、介護者及び家族の身体的苦痛の軽減を図る。					

施策の方向性

(2)将来を見据えた計画的なまちづくり

【具体的施策:①環境先進都市実現に向けた取組】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)			
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値
68	【重点】 「環境先進都市将来構想」の推進	「桐生市環境先進都市将来構想」を着実に推進するため、市民・事業者・研究機関で構成する「桐生市環境先進都市将来構想推進協議会」により、構想の実効性を高めるとともに、各主体がそれぞれの立場に応じた役割分担の下、相互に連携・協力を図りながら「環境先進都市」実現に向けた取組を推進する。また、本市が有する森林や豊富な水源などの地域資源を活用した取組を推進するほか、国が進める水素社会の実現に向けた取組を踏まえ、本市において考えられる水素・燃料電池に関する取組の研究を行う。	-	40	44	66

【具体的施策:②計画的な地域づくりの推進】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)			
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値
69	【重点】 中心市街地再生事業	産学官民連携による計画的な協議・検討などを通じて、中心市街地の再生に向けた適切な方向性について合意形成を図る。また、まちなかのリノベーション促進を図りながら、中心商店街の機能充実・魅力向上などを推進するとともに、人が集まり、自由に交流できるオープンスペースを増やすことにより、まちなか活力の向上も推進する。	-	未策定 ※No71は着手	未策定 ※70,72は着手 No71は策定完了	策定完了
70	【重点】 立地適正化計画策定・推進事業	少子高齢化・人口減少社会においても効率的な生活サービスが提供できるように、福祉、医療、商業などの都市機能の集約を図るとともに、居住機能の誘導によりまちのまとまりを維持することで、各拠点を連携させた多極ネットワーク型コンパクトシティの実現を図る。				
71	公共施設等総合管理計画策定・推進事業	本市が管理している全ての公共施設など(ハコモロ施設、インフラ施設、プラント施設など)について全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設などの最適な配置の実現を図る。				
72	スポーツ施設整備事業	老朽化したスポーツ施設を、今の時代にあったスポーツ施設として再整備することで、スポーツの振興により市民の健康増進を図り、さらに市民が集える場所の提供を行う。				

施策の方向性

(3)地域間連携に向けた取組

【具体的施策:①地域間連携に向けた取組】

No	施策・事業名	概要	KPI(重要業績評価指標)				
			平成26年度 基準値	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成31年度 目標値	
73	鉄道を基軸とした地域間連携の推進と沿線の活性化	市内4鉄道は、地域住民や観光客の貴重な移動手段となっていることから、新桐生駅のバリアフリー化に取り組むなど、各沿線自治体や関係機関と連携しながら、鉄道の利用促進と沿線のさらなる活性化に努める。また、東武鉄道は首都圏や近隣他都市と直結する縦軸、JR両毛線は JR水戸線とともに北関東を横断する横軸として重要な路線であることから、その整備促進の必要性を沿線自治体などと連携しながら関係機関への要望を行う。	おりひめバスの利用者数	407,471人	393,202人	403,356人	410,000人
74	地域公共交通体系改善事業	誰もが安心して市内で生活を送るための持続可能な公共交通体系の構築を目指し、高齢者や障がい者などに優しいバス交通の利用環境を整備するとともに、駅を中心としたバスやデマンドタクシーなど地域公共交通機能の利便性の向上や市街地への移動の円滑化を図る。					
75	北関東自動車道とのアクセス道路の整備促進	北関東自動車道は、市民生活の利便性の向上はもとより、観光振興や産業振興などに多大なる効果が期待されているため、群馬県や太田市と連携を図りながらアクセス道路の整備促進を図る。					
76	群馬県との連携による道路整備(群馬県街路事業)	まちなかのにぎわいや活力の創出を図るため、群馬県と連携の下、幸橋線・赤岩線などの整備を行い、広域アクセス機能の強化などを行うとともに、まちのシンボルとしての新桐生駅の魅力や交通結節機能性の向上を図るため、新桐生駅東口駅前広場及び前面道路を整備する。					